

歴史と文化のまち

# 足利七福神



七福神めぐりの歴史は古く、室町時代に京都で始められたといわれ、これが記録に残る最も古いものとされています。

七福神は、福德の神として印度、中国、日本の三国をあわせたもので、七という聖数にあわせた瑞祥のしるしの神さまです。

大黒天、毘沙門天、弁財天が印度の神さま、福祿寿尊、布袋尊、寿老人が中国の神さまで、恵比寿神が唯一日本の神さまです。

ほとんどが仏さまですが、七福神と言われ神さまとして扱われております。

足利の七福神めぐりは、昭和17年、まちの繁栄と家運の隆昌、健康増進を願って生まれました。第二次大戦中は中断されましたが、昭和50年頃からの七福神ブームに刺激され、昭和62年卯年の正月から復活したものです。ややもすると運動不足になりがちな正月や冬季のハイキングを兼ねた巡拝として数多くの名所、旧跡と豊かな自然にふれることができる、健康的な「足利七福神めぐり」をご案内いたします。

# 足利





### 恵比寿神 (えびすじん)

ただ一人の日本の神で、商売繁盛、財福清  
廉の神、漁の保護神として古くからの信仰  
を集めてきた。神話の蛭子の神又は事代主  
神ともいい、えぶすという名から推測して、海から漂  
着した神であるという説もある。



### 大黒天 (だいこくてん)

インドの神で、生産、豊作の神、財福の神  
として祀られている。古代インドでは戦争  
の神であったが仏教にとり入れられて、寺  
院の守護、護法神となった。  
頭に頭巾をかぶり、右手に打出の小槌を持って左手で  
大袋を背負い、米俵をふまえた姿をしている。



### 毘沙門天 (びしゃもんてん)

インドの神で、四天王の一つとして北方を  
守護する多聞天のことである。仏法を守護  
する神で財宝福德を授け、子宝を授ける神  
であるとされ、また戦勝の神でもある。



### 弁才天 (べんざいてん)

七福神の中で唯一の女神である。インドの  
神で弁才天ともいい、略して弁天という。  
音楽の神で、弁舌才知を与えるので、妙音天、  
美音天といい、水の神、芸術の神であり、また財宝利  
得をもたらすので弁財天として信仰されてきた。



### 福祿寿尊 (ふくろくじゅそん)

幸福と福祿と長寿を兼ね備えるという中国  
の福神である。背たけが低く、頭がきわめ  
て長く、経巻を結んだ杖をついている姿で、  
年令数千才ともいわれる。



### 布袋尊 (ほていそん)

中国の神で、大らかな笑顔で、何ものにも  
こだわらない、広い無垢の心を教えてくれ  
る。布袋尊(布袋和尚)は、他の六神とは  
ことなり、ただひとり実在した禅僧である。  
体が肥大で腹部を露出し、大きな袋をもって所諸をめ  
ぐり喜捨を求めて歩いた。また、布袋は、彌勒菩薩の  
化身ともされている。



### 寿老人 (じゅうろうじん)

中国の長寿の神で、寿老神と書く場合もあ  
る。白髪で白い髪をたくわえ、野服を身に  
まとい、鹿をとまなう老人である。杖をた  
ずさえ、杖の先には巻物をつけている姿は仙人ふうで、  
道教の始祖老子の化身の神ともいわれている。巻物は  
人命の長寿をしるし、鹿は長寿をつかさどる使者とさ  
れている。

歴史と文化のまち

# 足利七福神



七福神めぐりの歴史は古く、室町時代に京都で始められたといわ  
れ、これが記録に残る最も古いものとされています。

七福神は、福德の神として印度、中国、日本の三国をあわせたも  
ので、七という聖数にあわせた瑞祥のしるしの神さまです。

大黒天、毘沙門天、弁財天が印度の神さま、福祿寿尊、布袋尊、  
寿老人が中国の神さまで、恵比寿神が唯一日本の神さまです。

ほとんどが仏さまですが、七福神と言われ神さまとして扱われて  
おります。

足利の七福神めぐりは、昭和17年、まちの繁栄と家運の隆昌、健  
康増進を願って生まれました。第二次大戦中は中断されましたが、  
昭和50年頃からの七福神ブームに刺激され、昭和62年卯年の正月  
から復活したものです。ややもすると運動不足になりがちな正月や  
冬季のハイキングを兼ねた巡拝として数多くの名所、旧跡と豊かな  
自然にふれることができる、健康的な「足利七福神めぐり」をご案  
内いたします。





⑥ 福祿寿尊 (長林寺)  
西宮町2884 (TEL.21-5636)

〈幸福・福祿・長寿〉  
文安5年(1448年)足利長尾家の菩提所として初代景人が創建した。元禄時代、修行道場としての別格地となり、明治維新までの人材養成の道場としての伝統を継承し、参禅会、仏教講座など開設している。



⑦ 6丁目長尾弁天 (通6丁目巖島神社)  
通6丁目3177 (TEL.21-0215)

〈福德財宝・家内和合〉  
通6丁目の弁天は、もと長尾城主(三代目景長)が西宮町長林寺に祀ったもので、その後、明治元年(1868年)神仏分離令により長林寺から通6丁目に遷座、巖島神社となった。



⑧ 布袋尊 (福巖寺)  
緑町1丁目3270 (TEL.21-6990)

〈福德門講・家内安全〉  
寿永元年(1182年)藤姓足利四代目忠綱が母の菩提と父(俊綱)の供養のために創建したといわれている。足利義兼公と時子夫人の守り本尊(秘仏)子安観音と、セキ地藏尊が祀られている。



⑨ 毘沙門天 (常念寺)  
通7丁目3094 (TEL.21-2016)

〈開運厄除・学業成就〉  
時宗の開祖一遍上人は、熊野本宮に参籠して神勅を感じ、立教開宗したと伝えられている。本寺は平安末期(1143年)創建といわれる。一遍上人の法孫が遊行中荒廢した寺の再建に尽されたと伝えられ、仏舎利奉安の寺である。



⑩ 毘沙門天 (最勝寺)  
大岩町207 (TEL.21-8885)

〈開運厄除・学業成就〉  
奈良時代行基上人の開創。大岩毘沙門天は、日本三体の霊仏(京都鞍馬山、奈良信貴山、野州大岩山)の1つとして知られている。行事としては、大晦日の夜半からの「あくたい祭」、元日早朝の「滝流しの式」がある。



⑪ 大黒天 (徳蔵寺)  
猿田町9-3 (TEL.41-8621)

〈五穀豊穡・諸願成就〉  
開創年代は平安末頃の開創と伝えられています。内部正面には一向三尊の阿弥陀如来立像を安置し、この尊像は鎌倉時代の作で、木彫金箔、模様入りの稀に見る秀作である。その他、日本三大五百羅漢や千庚申塔、かな地藏尊、愛染明王尊等数々の重要文化財がある。



① 大黒天 (鑿阿寺)  
家富町2220 (TEL.41-2627)

〈五穀豊穡・諸願成就〉  
国の史跡、尊氏父祖の宅跡、建久7年(1196年)源姓足利氏2代目義兼が館の中に持仏堂を建て、守り本尊の大日如来を祀ったのが鑿阿寺の始まりである。周囲に土塁と堀をめぐらした寺域は約4万㎡である。



② 明石弁天 (本城巖島神社)  
本城2丁目1805 (TEL.42-0525)

〈福德財宝・家内和合〉  
寛政5年(1793年)の建立で、明治維新前は、通称明石弁天祀といわれていた。昔この里に清泉が湧く池があったので、水にゆかりの深い神として奉祀したと伝えられている。「美人弁天」は、巖島神社の御祭神、市杵島姫命の分身です。



③ 寿老人 (心通院)  
本城1丁目1742 (TEL.41-3202)

〈長寿・富貴・招福〉  
己を無にして他のためにつくす「利他行」を教えるとする。永禄9年(1566年)足利長尾の五代政長が両親兼長夫妻菩提のために、西宮町長林寺の七世学英宗益大和尚を開山として創建された。安産子育て、ぼけ除けの延命地藏尊が祀られている。



④ 名草弁天 (名草巖島神社)  
名草上町4990 (TEL.41-9977名草公民館)

〈福德財宝・家内和合〉  
名草弁天は、弘仁年間(810~824年)空海上人(後の弘法大師)が、水源農耕の守護として弁財天を祀ったのが始まりと伝えられている。国指定の天然記念物名草巨石群に鎮座している。



⑤ 恵比寿神 (西宮神社)  
西宮町3129 (TEL.21-6790)

〈除災招福・商売繁盛〉  
昔は、足利五箇村栗崎鎮守恵比寿宮といわれた。慶長8年(1603年)代官小林重郎左衛門は、領地繁栄のために攝津国西宮神社に勧請し創建された。特に秋祭りは、開運や商売繁盛を願う人で賑わう。

●東武伊勢崎線  
・浅草駅～足利市駅  
特急 70分  
・伊勢崎駅～足利市駅  
40分

●JR両毛線  
・高崎駅から足利駅  
60分  
・小山駅から足利駅  
40分

●自動車道  
・東北自動車道  
佐野藤岡IC～足利市15km  
・北関東自動車道  
太田桐生IC～足利市7km  
足利IC (4月開通予定)

新春(1・2月)のご参拝がお決まりの方は、12月上旬までに足利市観光協会へご連絡下さい。(各社寺へご連絡いたします)  
他の時期にご参拝の方は、お手数ですがあらかじめ各社寺へご連絡くださいますようお願いいたします。

観光のお問い合わせは  
足利市観光協会(太平記館) 〒326-0053 栃木県足利市伊勢町3丁目6-4  
TEL 0284-43-3000 (FAX 43-3333)





10 最勝寺

WC



5 西宮神社

第一中



6 長林寺

WC



7 長尾弁天



4 名草弁天

白石群

名草白石群



3 心通院

WC



2 明石弁天

逆川



1 鑊阿寺

WC



三重小

県産業技術センター

足利工業高校

西小跡

足利銀行

大石和華入道

足利日赤

陸屋大門通り

足利小山信金

大目北門通り (御の旗通り)

百太郎通り

足利学校

足利まちなみ遊学館

友愛会館

商工中金

みずほ銀行

足利市立美術館

東和銀行

JR両毛線

至前橋

公園

至太田

至太田

至太田

足利市駅

東武伊勢崎線

一方通行





### 順拝コースのご案内

七福神めぐりは、「福徳」と「心の安らぎ」及び「健康」を得るためのものですから、徒歩で巡るのが基本です。  
 しかし、市街地から離れた遠隔地の七福神は、徒歩での巡拝は難しいので、この場合はマイカー又は「太平記館」（観光協会）のレンタサイクルでの巡拝をお勧めします。

|                             |                              |
|-----------------------------|------------------------------|
| <b>徒歩コース</b><br>約8km・2時間15分 | <b>車両コース</b><br>約49km・2時間40分 |
|-----------------------------|------------------------------|

(※詳細時間は各社寺10分、名草弁天は20分)

**太平記館**  
(巡拝拠点施設)

|                          |                             |
|--------------------------|-----------------------------|
| (0.4km) 8分<br>徳阿寺・大黒天    | (3.8km) 車9分<br>徳蔵寺・大黒天      |
| (1.2km) 18分<br>心通院・寿老人   | (3.8km) 車9分<br>太平記館         |
| (0.3km) 4分<br>龍舟神社・明石弁天  | (7.5km) 車18分<br>龍舟寺・大岩見沙門天  |
| (1.8km) 24分<br>龍舟神社・長尾弁天 | (7.5km) 車18分<br>太平記館        |
| (0.4km) 6分<br>長林寺・權祿寿    | (13.2km) 車31分<br>龍舟寺・大岩見沙門天 |
| (0.8km) 8分<br>西宮神社・恵比寿神  | (13.2km) 車31分<br>太平記館       |
| (1.1km) 15分<br>常念寺・毘沙門天  | (1.9km) 29分<br>龍舟寺・布袋尊      |
|                          | (0.4km) 6分<br>龍舟寺・布袋尊       |

**徒歩で巡る巡拝のモデル**

- 徳阿寺
- 心通院
- 明石弁天
- 西宮神社
- 長林寺
- 長尾弁天
- 常念寺
- 龍舟寺

※コース全体を逆方向に回ることも可能です。

**バスでゆっくり旧コース**

- 徳蔵寺
- 名草弁天
- 心通院
- 龍舟寺
- 長林寺
- 西宮神社
- 龍舟寺

又は

- 龍舟寺
- 龍舟寺
- 西宮神社
- 長林寺
- 徳蔵寺
- 名草弁天
- 心通院

上記の途中で学校周辺の敷地を入れてみては如何でしょうか